



ロータリー:  
変化をもたらす

2017～2018 年度国際ロータリーのテーマ

## ロータリー：変化をもたらす

●会長 白木 誠一  
●幹事 古田 哲朗

No.1598 平成 30 年 01 月 17 日 第 25 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30～ <http://www.serc2720.org> email:serc@serc2720.org

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

### ■点鐘

### ■国歌斉唱

### ■四つのテスト唱和

(職業奉仕担当委員 宮川義行)

### ■来訪者紹介

(会長 白木誠一)

熊本東南ローターアクトクラブ 河野勝平 君  
米山奨学生 翁力棟 君

### ■今月の誕生祝い

(副会長 内田信行)

#### 【会員】

志賀重人 君 S.12.1.6  
住江正治 君 S.17.1.17  
小畑成司 君 S.36.1.4  
緒方公一 君 S.47.1.7

#### 【配偶者】

小松野晴美 様 1月15日  
永野文子 様 1月27日  
益田留美 様 1月28日

### ■奨学金授与式

(会長 白木誠一)

米山奨学生 翁力棟 君

### ■翁力棟君より中国土産の贈呈

### ■会長の時間

(会長 白木誠一)



新年あけましておめでとうございます。1月は睦み月と呼びまして新年を親しい人達と親しみ睦合うという意味で睦月と呼ばれるそうです。24節季では冬至が12月22日で大寒の真ん中になっていまして、昼の時間が長くなる時期に入っています。

暦の上では、元旦が大正月と呼ばれるのに対し、1月15日が小正月とされていて、この15日までが門松などのお飾りを飾っておく期間とされています。そこで、おめでとうの挨拶は15日を目処にしてあるようです。本年度も後半になってまいりました。熊本地震からもう3月14日で2年になろうとしています。今日は阪神大震災がおきて23年目になります。

これからが建築の本番だともおもいますが、崩れるのは一瞬ですが建てるのには時間とお金がかかるようです。現状では壊滅した家屋の解体が90% (公費解体)は進んだようです。また、仮設住宅に残っている方たちが1万人と3万人で計4万人とまだまだ、復興の途中です。これからも避難者のひとたちへの物的支援、心のケアの支援が必要だと考えています。

現在、熊本は地震による特需もあり、日本の経済も上向きになってきており、不動産も好景気です。トランプ大統領が就任する前からアメリカの「景気が底をうった」と報道しFRBがじわじわと金利をあげはじめました。すると、じわじわと世界のお金が7/24に集まりはじめます。勿論日本は円安ドル高になり輸出企業は景気が良くなるという構図ですね。

国内企業も不動産再開発が活発になってきているようです。

熊本ではラグビーの世界大会も予定されます。再来年にはオリンピックも開催されます。熊本の建物では下通ではココサが出来、来年の夏には桜町マウスができる予定です。それに熊本駅も21年開業の12階建て駐車場800台と続々できるようです。

また、1年3か月後には平成天皇がお辞めになり年号も変わりますし、変化の激しい年になりそうです。ただ、日本全体がバブルと言うのは実感は熊本ではあまり感じないようで、都市部に世界中の投資、投機資金が集中しているようです。

例えば目黒雅叙園は森ビルが米投資ファンドから1300億円で取得し5か月後に1450億円で転売し業界を驚かせました。又、森ビルは14年にできたばかりの虎の門の場所の周りにあと3棟同じ



ような大きさと4000億円規模の再開発を手がけています。  
三菱地所も東京駅前東側約1万坪で4つの建物で390Mの高層ビルの再開発。

再開発は日本だけでなく、世界の都市部でも始まっているようです。  
ジャカルタの高層ビルで森ビルが21年竣工。  
ニューヨークでは高層ビルが同じ区域に16棟の計画ハドソンヤードと呼ばれ、すでに3棟は出来ています。ロンドンでも、パリでも進行中です。

日本での1970年代の頃は、高度成長のおかげで資産格差は、中産階級が多い層になってきましたが、格差が変化してきたのは、日本より先進国が先に格差が広がってきたようです。それ世界でエネルギー問題、人権問題、環境破壊で高額搾取が続き世界中で資産格差が広がり、それが世界のテロの原因に繋がったように思えます。

### ■幹事報告(幹事 古田哲朗)



1) 年賀状を頂いております。  
和歌山東南RC 太田豊隆様、慈愛園子供ホーム様、藤崎台童園様、(株)オクトン様。(順不同)

2) 熊本城東RCより、創立30周年記念式典の案内。  
2018年3月31日15:00~19:00、  
熊本ホテルキャッスル、登録料10,000円  
※リーフレットを受付で配布しています。

3) 永田壮一 ガバナー、高山泰四郎 ガバナーエレクト、坂口滋一 米山記念奨学会部門長より、  
2018 学年度米山奨学生 世話クラブ募集の案内。  
(1月19日締め切り)

4) 熊本菊南RCより、創立30周年記念誌の送付。

5) 野球大会実行委員会責任者 岡村泰岳 パストガバナーより、RI第2720地区ガバナー杯争奪野球大会(仮称)開催について。  
2018年6月1日(金)前夜祭 PM18:30~  
別府市内ホテル  
2018年6月2日(土)野球大会 AM 8:00~  
別府市民球場(稲尾和久記念館)

6) ロータリー囲碁同好会より、第19回ロータリー国際囲碁大会開催の案内。  
2018年4月22日(日)9:30~日本棋院会館(東京・市ヶ谷)

7) 国際ロータリー第2720地区ローターアクトより、第31回大分グループ留学生交流会の案内。

2018年2月18日(日)10:00~15:00  
津久見市民体育館(大分県)

8) 熊本少年友の会より、会報の送付。

9) 慈愛園子供ホームより、  
クリスマス会のお礼と会報「きっず Vol.47」の送付。

10) 光明(ひかり)童園より、会報「ひかりっ子新聞」の送付

11) 本日例会終了後に、第7回定例理事会を開催いたします。  
藤崎台童園より、クリスマス会の案内。

日時 2017年12月25日(月)17時30分~  
場所 児童養護施設藤崎台童園ホール

#### 今後の行事

開催日	行事名	場所	会場	出席者
2018年1月27日(土)	地区補助金管理セミナー	大分県大分市	ホルトホール大分	白木誠一、白石繁、福井学
3月16日(金)・17日(土)	地区大会	熊本県熊本市	熊本ホテルキャッスル・熊本市民会館	案内中
3月31日(土)	熊本城東RC創立30周年記念式典	熊本県熊本市	熊本ホテルキャッスル	全員登録

### ■ロータリーの友紹介

(会報・雑誌担当委員 村瀬直久)

ロータリーの友 2月号  
熊本北RC 倉田榮喜会員の記事(p.15)  
宇佐2001RCの記事(p.50)



### ■委員会報告

(熊本東南ローターアクト 河野勝平)

熊本東南RAC 2月第2例会  
(清掃活動&BBQ)  
2月24日(土)清掃活動9:00~、BBQ 12:00~  
江津湖公園上江津地区、江藤ボートハウス



### ■出席報告

(出席・プログラム担当委員 河岸彦治)



月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率(%)
01月03日	休会				
01月17日	41 (免3) 38	27			71.05

出席免除

01月17日 住江正治 鷺山法雲 島村徹

今度の100%出席の日は 01月31日です。

## ■スマイル

(親睦・スマイル担当委員 横山佳之)



◎白木誠一 10,000 円

あけましておめでとうございます。今期、後半に入りました。宜しくお願いします。

◎村瀬直久 5,000 円

今年も小畑さんにお世話になり箱根駅伝の観戦に行ってきました。昨年の反省を活かしてバッチリでした。青山学院の関係者の方々、総合優勝おめでとうございます。東洋大学の関係者の方々、往路優勝おめでとうございます。早稲田大学関係者の方々、さすがです。日本体育大学関係者の方々来年こそ優勝しましょう。

◎志賀重人 5,000 円

誕生祝い、有難うございました。後何回頂けるか分かりませんが今後も宜しくお願いいたします。

◎宮川義行 5,000 円

平成30年最初の例会、皆さん今年もよろしくお願ひいたします。12月20日のクリスマス家族会、12月23日慈愛園のクリスマス会、12月30日の内田信行会員宅もちつき大会、1月5日新春合同例会、1月11日アクトの新年会、1月13日アクト定例会、年末年始もあわただしく過ぎていきます。1日1日を見失わないように、今年も皆さんと共に、ロータリーの行事に参加させて頂きます。御指導よろしくお願ひします。

◎吉田嘉昭 3,000 円

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひします。

◎内田信行 3,000 円

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

◎古田哲朗 3,000 円

あけましておめでとうございます。今年はゴルフのスコアをよくするために、整体からはじめています。2018年は背骨をまっすぐにして、パターをしっかりと入れていく予定です。今年もよろしくお願ひいたします。

◎佐野茂 3,000 円

新年おめでとうございます。本年もどうぞよろしく。

◎堤勝也 2,000 円

久しぶりの出席です。大変ご迷惑お掛けしています。今年もよろしくお願ひいたします。

◎彌富照皇 2,000 円

入会してから初めての正月です。今年もよろしくお願ひいたします。

## ■会長年頭挨拶

(会長 白木誠一)



地震からもう3月14日で2年になろうとしています。会員の皆さんの中には多大なる被害を受けた方もおられると思いますが、地震により誰一人として会員をやめられた方はおられません。皆さんは乗り越えて来られたと思います。不幸中の幸いですね。なお且つ、姉妹クラブから支援を受け「高倉健」の映画を地震地域の支援として活動してきました。

日本の経済も上向きになっており、不動産も好景気です。1年3か月後には平成天皇がお辞めになり年号も変わります。再来年にはオリンピックも開催されます。

熊本ではサッカー、ラグビーの世界大会も予定されます。

仮設住宅に残っている方たちが1万人と3万人で計4万人とまだまだ、復興の途中です。これからも避難者のひとたちへの物的支援、心のケアの支援が必要だと考えています。

1月から年度の後半に入り、前半の報告とこれから後半の活動予定を考えて行きたいとおもいます。

熊本東南ロータリークラブは諸先輩方の努力により昭和59年に設立して今日まで歴史を刻み34年目になります。現在まで銃剣道、吹奏楽などの奉仕活動の歴史が、諸先輩方の努力で多く刻まれてきています。

私の在籍年数は23年間ですが、これから会員皆様方と一緒に楽しく奉仕活動をしていきたいとおもいます。

今年度の国際ロータリーの会長イアン.H.S.ライズリーがロータリーの目指す三つの目標は「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」と掲げています。

永田壮一ガバナーのスローガンは「ロータリーを奨励し、ロータリーを楽しもう」と提唱していますが、皆さんと一緒に奉仕活動を実践して行く事が楽しい活動のなると表現しています。

以上のテーマに沿って本年度後半もクラブの皆さんと方向性を考えて行きたいと思ひます。

### クラブ目標

1. 会員増強  
女性会員の純増1名以上と前年度会長の3年で会員数50名目標を引き継ぐ。
2. マイロータリーへの登録
3. 戦略計画委員会の設置  
すでに、3回の委員会を開催
4. ロータリー財団・年次寄付10%



5. 地区補助金プロジェクトへの参加(高校通学用自転車購入支援)
6. ポリオ撲滅運動への参加 募金活動など
7. 奉仕活動として慈愛園サマーキャンプ支援、伝承遊び、フィリピン里親支援の見直し。  
国際奉仕を人権問題と環境破壊問題とを見直す。
8. 青少年奉仕事業として RAC クラブの参加と会員増強
9. 姉妹クラブ 台湾板橋南区扶輪社の周年事業への参加  
及び和歌山東南ロータリーとの交流 約 45 名の参加予定
10. クラブにおける IT 活用の促進 他のクラブ、地区から情報を参考にする。

以上を本年度後半の目標にし会員皆さんの指導を受けながら皆さんと楽しく活動していきたいと思ひます。宜しくお願ひします。



編集者 村瀬直久

## 2018-19 年度 ラシン国際ロータリー会長のテーマ

国際ロータリー バリー・ラシン次期会長の願ひは ロータリアンが「インスピレーション」になること  
記事 Hank Sartin 写真 Monika Lozinska



会長テーマ「インスピレーションになろう」を發表した 2018-19 年度国際ロータリー会長バリー・ラシン氏。

去る日曜日、国際ロータリーの次年度会長バリー・ラシン氏(バハマ、イーストナッソー・ロータリークラブ所属)がロータリーの未来のビジョンについて語り、会員や地域の人びとへのインスピレーションとなって、次世代のために持続可能な活動を行うよう次期リーダーに呼びかけました。

ラシン会長エレクトは、米国サンディエゴで開催中のロータリー国際協議会で、次期地区ガバナーに向けて 2018-19 年度テーマ「インスピレーションになろう」を發表。「何か大きなことに挑戦しようというインスピレーションを、クラブやほかのロータリアンに与えてください。自分よりも長く、後世にも生き続けるものを生み出すために、行動を起こす意欲を引き出していただきたいのです」

ロータリーの新しいビジョン声明は、次のように謳っています。「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合っ て行動する世界を目指しています」。ラシン氏は、このビジョン

声明の意義を強調し、声明がめざすロータリーを実現するためにリーダーシップを発揮するよう求めました。

ビジョンの実現にはまず組織づくりが必要だと、ラシン氏は強調します。「ロータリーは第一に会員制組織です。ですから、奉仕活動を通じてより良い世界を築きたいと願うなら、まずは会員を大切にしなければなりません」

「変化を生み出そうという意欲を、クラブ会長と地区内ロータリアンの心に芽生えさせていきたいのです。もっと何かをしよう、可能性を最大限に発揮しようというやる気を引き出し、それぞれのやり方で前進できるよう手助けすることが皆さんの仕事です」

### ポリオ撲滅の進展

ロータリアンにとってインスピレーションの源の一つはポリオ撲滅活動である、とラシン氏は述べ、過去 30 年間に成し遂げた顕著な進展に触れました。1988 年には野生型ポリオウイルスによって推定 35 万人が身体まひを患っていましたが、2017 年に報告されたポリオ症例数はわずか 21 件。「今がポリオ撲滅活動の正念場」と語り、「新規症例があるたびに、それが史上最後の症例となる可能性がある」と述べました。

ただし、最後の症例が報告されても仕事が済んだわけではないと、ラシン氏は強調します。「撲滅認定委員会がポリオ撲滅を正式に認定するまで、すなわち 3 年間、川や下水、または人の体内からポリオウイルスが一切発見されなくなるまで、ポリオ撲滅活動は終わらないのです。……それまでは、今行っているすべてのことを続けていかなくてはなりません」。こう述べたラシン氏は、予防接種活動やサーベイランス(監視)に引き続き力を入れていくことの重要性を訴えました。

### 環境の持続可能性を守る

さらにラシン氏は、近年、ロータリーが人道的活動における「持続可能性」を重視していることに触れ、環境汚染や気候変動という厳しい現実をロータリアンが認識すべきであると述べました。祖国バハマの土地の 80 パーセントが海拔 1 メートル以下であることも指摘。2100 年までに海面が 2 メートル上昇すると推定されており、「私の祖国は、ほかの多くのカリブ海諸島や、世界中の沿岸都市や海拔の低い地域と同様、50 年後にはなくなってしまう」と懸念します。

ロータリーのすべての奉仕活動を、より大きなグローバルなシステムの一部としてとらえるよう、ラシン氏は呼びかけました。これは、次期地区ガバナーが、クラブだけでなく、地域全体にとってのインスピレーションとなる必要性を意味する、と述べます。「持続可能な活動成果をもたらし、世界をより良くしたいと私たちは願っています。ロータリー内部やロータリアンのためだけでなく、世界全体のあらゆる人たち、あらゆる世代のために、私たちにできることがあるのです」



インスピレーションになろう